

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	Safety and efficacy of low-dose metronomic cyclophosphamide plus vinorelbine in patients with metastatic breast cancer previously treated with anthracyclines and taxanes
該当者	2010/7~2017/5 までに当院でビノレルビン点滴(VNR)+低量内服シクロホスファミド(CPA)治療を実施した患者さん
当院の研究責任者	乳腺外科 工藤 俊
研究代表者	乳腺外科 工藤 俊
本研究の目的	アンスラサイクリン、タキサン使用后、抵抗性のある再発乳癌に対して、上記治療の安全性と治療効果の結果を後方視的に検討する。
実施予定期間	2010年7月~2017年5月までの期間
研究の方法	HER2陰性のアンスラサイクリンおよびタキサン既使用転移再発乳癌で、通常の日常生活可能かつ十分な骨髄機能のある患者を対象。投与方法は、VNR 25mg/m ² day1,8 静注投与しday15 休薬、経口CPA 100mg/body/day を2週間投与、1週休薬で21日を1コースとして反復投与した。主評価項目は無増悪期間(TTP)および6か月時点での病勢コントロール率(6mCBR)。副次的評価項目は安全性と有害事象です。
研究に用いる試料・情報の種類	診療記録の既存の資料からデータを収集します。
外部への試料・情報の提供・公表	調査結果をASCO(米国臨床腫瘍学会) 2018総会で発表予定
個人情報の取扱い	利用する情報から指名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	無し
お問合せ先	乳腺外科 工藤 俊 (023-685-2626)